

## 台湾産 Theclini 族シジミチョウ 3 種について

村 山 修 一<sup>1)</sup>

## Some notes on three rare species of Theclini from FORMOSA

By SHU-ITI MURAYAMA

最近台湾の陳維寿君より送られた Theclini シジミチョウの中から、3つの稀種を見出したのでここに報告する。一つは全く従来未記録の種で新たに亜種名を附し発表する予定であったが、白水氏より Sieboldia, Vol. 2, No. 1 に発表の手続き中である旨おしらせを頂いたので、(この原稿がブラになる頃白水氏の論文は出版された) 同氏の示された学名を採用することにした。ただ和名のみ我々になじみ易くする為つけておいた。他の2種は従来♂が未記録であつたもの、♀も決して採れた数は多くなかつたのである。以上すべて貴重な材料を採集送附された陳維寿君の御功績を賞揚したい。

*Ussuriana michaelis takarana* ARAKI et

HIRAYAMA コンゴウシジミ

朝鮮のコンゴウシジミが台湾にも産することは、既に1941年、荒木・平山両氏により、台中州眉溪及び霧社の2♀♀に基づいて新亜種 *takarana* の名の下に記載されたのであった(虫の世界, vol. 4, No. 11-12, p. 1-2, pl. 19, fig. 1 & 2)。其後絶えて本亜種のえられた報告をしらないが、今回幸いにもその1♂が採集せられ、研究する機会を与えられたのでここに記載する。標本は写真に見らるゝ通り触角は全部失われ、翅は送附の途中で甚しく破損したのであるが、その全貌を察するには足るであろう。(写真 fig. 6 の裏面翅頂から斜めに長く見える帯状は修理のあとで斑紋ではない。)(最近森石雄氏の入手された1♂は完全なものとい

う) *Ussuriana michaelis takarana* Allotype 1♂ (fig. 3 表面, fig. 6 裏面)

15. Jan. 1956, Malapa, Taihori (2200m) 台中州

前翅長 24mm. 表面、前翅橙色の部分 ♀ に比して遙に小さく、1, 2, 3 各室の一部分を占め、外縁は巾広く、黒色である。中室端の横脈は橙黄色、後翅殆んど黒色、僅に内縁角のみ少し橙黄紋をあらわす、尾状突起頗る長し。裏面、金黄色、後翅第 1b 室の銀色紋列外側の赤色部に不鮮明な霜降状の小紋あり、其他♀と大差なし。次に原種 *michaelis* ♂ (fig. 2 表面, fig. 5 裏面) と比較するに、原種は私の標本で前翅長 20mm をはかり、本亜種の方が可成り大きいことをしる。前翅表面の橙黄色部の広さは余り変らないが、後翅肛角の橙黄色紋は原種では殆んどあらわれない。尾状突起も本亜種の方が遙に長い。裏面では前後翅とも銀紋列、原種より巾広く、之に接する赤紋列も顕著であり、前翅後角附近、後翅第 2 室、及び肛角附近の黒紋は何れも大である。荒木・平山両氏は *takarana* と原亜種の区別に、後翅表面の地色が橙黄色か否かの点をあげているけれども、これは原亜種、本亜種共に♀♀間の差異であって、両亜種の差異にはならない。また前翅長 Holotype 52mm. Para-

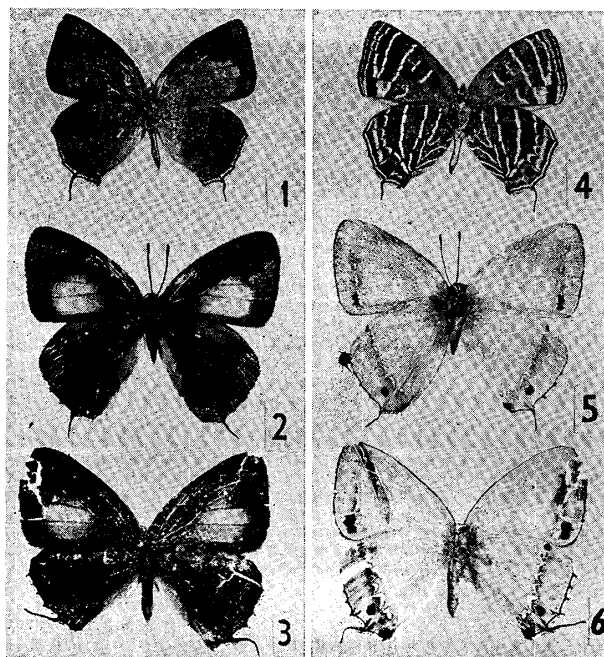


Fig. 1.: *Wagimo sulgeri insularis* SHIRÓZU, ♂ (Upperside). Fig. 4: Do. (Underside). Fig. 2: *Ussuriana michaelis michaelis* OBERTHUR, ♂ (Upperside). Fig. 5: Do. (Underside). Fig. 3: *Ussuriana michaelis takarana* ARAKI et HIRAYAMA, ♂ Allotype (Upperside). Fig. 6: Do. (Underside).

1) 大阪府茨木市新庄町744

type 54mm. とあるのは何かの誤りに相違ない。最後に、こゝで面白いことは、今回の標本が 2200m の高所で 1 月中旬採集されていることで、♀が 4—5 月にとれているところからみても、本亜種の発生は頗る早いことがうなずけるであろう。之がまた発見の機会を少なくしている原因と考えられる。

*Wagimo sulgeri insularis* SHIROZU. タイワンウラムスデシジミ (新称) (fig. 1 表面, fig. 4 裏面) 1 ♂, 台湾台中州霧社附近産, 1953 年 (日月は不詳).

原亜種 *sulgeri* OBERTHÜR に比し、前翅表面紫色紋は一層大形、特に第 2 室において外方に張り出している。この紫色紋と外縁との間の黒色部には、さらに第 1, 第 2, 第 3 各室にわたり外縁に沿うて線状の弱い紫色斑あり、後翅表面は中室に僅かに紫色斑あるも目立たない。裏面前翅後角に近く第 1 室に大形の黒紋あり、その両側は強く白色にぼかされている。後翅裏面第 3 室より第 6 室に至る間、外縁に近く原亜種のような黒紋なく、また第 1b 室には小白点を有しない。尾状突起は長い。原亜種より小形。触角折損してなし。翅の開張 26mm. 前翅長 13mm.

本種は一見、クボウラムスデシジミとウラクロシジミ♀の中間に位し、外観上両者に頗る似たもので、而も上記両種とも台湾に産する点で一層興味を覚える。すなわち *sulgeri* を媒介として *quercivora*, *signatus* が *orse-dice* と近い関係にあることをしりうるので、この 3 種とも西部シナ系のものと考える上に有力な示唆を与えている。何れにしても白水氏のタイプと共にいまが 2 頭しられることになったが、今後は♀の発見が期待されるわけである。私は恐らく♀も外観はと大差ないものゝように推察する。(4 月 29 日記)

*Tajuria karenkonis* MATSUMURA カレンゴウシジミ

今回新たに♂が発見されたので記載する。(私が *Zephyrus*, vol. 9, p. 174 で♂としたのは♀の誤り)

*Tajuria karenkonis* Allotype 1 ♂

3, Aug. 1957, Usou 台中州, 前翅長 18mm.

裏面♀と大差なし、表面の藍色紋一層濃色で光輝あり、その面積前翅は後角の端まで後翅は前縁近くまで及ぶ。

#### Resumé

*Ussuriana michaelis takarana* Allotype 1 ♂. (fig. 3, & 6) 15. Jan. 1956, Malapa, Taihori (2200m.), Central Formosa. Length of forewing : 24mm. W. CHUNG leg. In author's collection.

Holotype 1 ♀, Paratype 1 ♀, 1941, ARAKI et HIRAYAMA, Mushi no Sekai (Insect World) vol. 4, No. 11-12, p. 1-2,

Upperside, yellowish orange area on the forewing much smaller than the female. Hindwing almost black, with yellowish orange patch at anal angle. Antennae are lost. The male of this race is larger than that of original race from Korea (fig. 2 upperside, 5 underside), the tails also are longer, and the black spots of underside are all longer.

*Wagimo sulgeri insularis* SHIRÔZU (fig. 1 & 4) 1 ♂, Musha, Central Formosa, 1953

(Detailed date unknown.) Length of forewing : 13mm. W. CHUNG leg. In author's collection.

It is expected that Mr. T. SHIRÔZU will publish the description of the new Formosan race of *Wagimo sulgeri* under the above-mentioned name in the near future. So I refrain to name the new race here, and give only the description. (While the proof of this paper is reading, Mr. SHIRÔZU's description was published.)

Upperside, the purplish marking on forewing larger, especially it projects towards the outer margin. Between this marking and outer margin, bearing the linear weak purplish markings in the interspaces 1, 2 and 3. The faint purplish marking in the discoidal cell on the hindwing.

Underside, having large marking in the interspace 1 near anal angle on the forewing, both sides of this marking being gradated whitely. The whitish spot in 1b near or outer margin on the hindwing of the original race, but there are no spot in this new race. Size smaller than the original race.

*Tajuria karenkonis* Allotype 1 ♂, 3, Aug. 1957, Usou, Taichung, Formosa.

Length of forewing : 18mm. W. CHUNG leg. In author's collection.

Holotype 1 ♀, 1929, MATSUMURA, Ins. Mats. vol. III, No. 2 & 3.

Upperside, forewing bluish patch more deeper, and brilliant than ♀, extending completely to the tornus. Hindwing bluish area more extending to the costal margin.